育成会だより

2023年度 第4号

発行 認定 NPO 法人はばたけ手をつなぐ育成会

〒668-0031 豊岡市大手町7番9号

TEL: 0796-24-3660 FAX: 0796-34-6433



[E-mail] toyoteiku@tuba.ocn.ne.jp

[URL] http://www.toyoteiku.com/

編集 本部事務局 2024年3月31日

餅つき大会

3月15日(金)、家族会主催の餅つき大会が行われ、総勢98名、各グループに分かれて餅つきを行い、とてもにぎわいました。 利用者さんたちが杵で餅をつき、保護者が丸めて、「あん・めんつゆ・きな粉」の3種類のお餅が出来上がりました。たくさんのつきたてのお餅に加えて、もみじ家特製の豚汁とおにぎりでお腹がいっぱいになりました。利用者の皆さん、「とてもおいしかった」と笑顔で言われていました。



午後からは、はばたけ職員さんの紹介、旅行の思い出やフェスタはばたけ 14th のビデオ鑑賞をしました。皆さまにご協力いただき、楽しい餅つき大会となりました。

家族会活動



家族会活動では、 サービス利用者の家族としてより良い取り組みを 願い、後方支援をしています。月々の施設整備寄付金とは別に、今年度は、 グラウンドゴルフ景品・フェスタはばたけクリスマスプレゼントを、更に 職員さんの人手の少ない中での円滑な支援のために、介助用リフト整備費 の一部を寄付させていただきました。

サポート協会地域生活支援事業研修会

ト協会地域生活支援事業助成事業として「太極拳講座」〜健康寿命を延ばそう!〜と題し研修を 行いました。山口眞理子氏を講師に迎え、年齢・性別・体

力に関係なく、生涯スポーツとしても最適な「太極拳」を教えていただきました。まず、ストレッチや中国版ラジオ体操で身体をほぐした後、太極拳の初歩的な型を教えていただきました。ゆったりとした動作で体重移動を行う太極拳ですが、講座が終了す

る頃には参加された皆さんじんわりと良い汗をかかれていました。

生活介護 ほっと より

冬が過ぎ、少しずつ暖かい季節に近づいています。「ほっと」の玄関壁面の装飾も、桃や桜の花が咲き春らしくなってきました。今年度も、「ほっと」の皆さんは盛りだくさんのイベントや活動に参加され、いろいろな事を体験し楽しまれました。

1月には成人式を迎えた利用者さんが、職員手製の黄色とピンクの チマチョゴリと髪飾りを身にまとい、折り紙のチューリップの花束を 渡されるととても気に入り、満面の笑顔でぴょんぴょんと跳ね、嬉し さを体全体で表しておられました。利用者さんに筆で文字を書いてもら い「祝・成人式」を開催しました。

インタビューでは、好きな食べ物や好きな歌は何かを聞かれると、ちょっと考えて答えられました。全員からお祝いの言葉を言われると、最高の笑顔が見られました。



塩津所属の利用者さんは、天候に合わせながら毎日元気に作業に取り組まれました。きびきびと作業をした後はスヌーズレンを利用し、運動や安らぎの時間を過ごされました。

また、夏野菜を植える準備の時期になり、今年はどんな 野菜を収穫出来るのか楽しみです。

次年度は、新しく3名の方が利用されます。ますます 賑やかで楽しい「ほっと」になるのではと思っております。 日々健康に気をつけながら、皆様と一緒に、今年もいろい ろな経験を積み重ねていく飛躍の年にしていきたいと思 います。

< N >

就労継続支援B型 すい一つ より

就労継続支援B型事業所「すい一つ」は、製菓部門『pono(ポノ)』、配食サービス『もみじ家』、カフェ部門『HABATAKE Sweets Café』があり日々利用者さんが作業されています。

もみじ家では、盛り付け・下処理・洗浄業務と大きく分けて3つ の工程を利用者さんに担当して頂いています。

下処理では、次の日の野菜を切る・乾物の出庫・精米機を分解して洗浄するなど、作業内容は多岐にわたっています。

献立表を見ながら明日の材料を出す・数を確認する・鉄板に並べる作業をして頂きます。

鉄板に魚を並べる際には、魚の向きをきちんと揃えるなど丁寧な作業をされており、日々の成長を実感し、また勉強にもなっています。

そんな利用者さんの姿が見られることで、職員も喜びを感じ勇気をもらい、新たな気持ちで仕事に向かう事ができています。



<N>

生活介護 じゃんぷ より



2月といえば節分、節分といえば豆まき!じゃんぷでは 本物の豆をまくのはもったいないということで、新聞紙を 丸め豆まきをしました。

まず、「じゃんぷ」メンバーさんは豆作りに取り掛かります。一人ひとり様々な豆を作り、普段は工作が苦手なメンバーさんも「出来ました。豆まきします!」と言われ、楽しみにされているのが伝わってきました。

「おにはーそと、ふくはーうち」と大きい声で鬼に扮した職員に豆を投げて盛り上がった後は、ティータイムに豆を食べるなど笑顔あふれる楽しい節分となりました。



2月末、「じゃんぷ」に新メンバーさんが来られました。はじめは会話も少なくお互い緊張されていた様子でしたが、今ではすっかり馴染み元気に活動に取り組んでいます。

来年度も元気で明るいじゃんぷにしていきますので、よろしくお願い致します。

<N>

障害児通所支援事業 つくし より











3月に、幼い頃から約12年間という長い間「つくし」に通われていた4名の方が、高等部を卒業され「つくし」を巣立たれます。幼い頃の写真は、みなさんあどけない表情で、かわいらしい雰囲気でした。いろいろなところで、幅広くたくさんの経験を積まれて、顔立ちはもちろんのこと、雰囲気もすっかり大人に変わられた気がします。みんなでいろいろな活動をしましたが、みなさんそれぞれに、ここぞ!というところで力を発揮されていました。気持ちを伝えること、自分で行動できることが増えました。学校での勉強や活動後のつくしでも、ワークに頑張って取り組まれていました。みなさんの成長する姿に接しながら、ついつい笑顔になり、心がほぐれることが多かったです。ご縁あって出逢えたことに感謝しています。これから、新しいところでも、みなさんそれぞれの雰囲気に変わりなく、元気に楽しく笑顔多い時間を過ごされるようにと願っています。



グループホームOHANA より



令和元年 12 月に開設した自立型グループホーム「はるぞら」は、その特性上各居室にバス・トイレ・キッチンがあり、他のホームに比べ共有スペースはとても少ない作りになっています。そのため、これまで入居者が一堂に会することはありませんでした。

年に数回でも、茶話会など何かホームのイベントをしたいねと話しながら、コロナ禍も収束とはいかず、今年度も果たせないままです。来年度こそは、何か楽しいイベントを行いたいものです。

<M>

ヘルパーステーションはぁと より

コバス体験 にて商業施設にお出かけされたある日の一コマをご紹介します。自宅からバス停まで移動しながら、当日のスケジュールを一緒にしっかりと確認。商業施設内では、買物・ゲーム・ティータイム・写真のような季節イベントへの参加を中心に過ごされます。

公共交通機関の利用がなかなか厳しい中で、コバスを利用して様々な所へ外出でき楽しめる事は非常に助かっています。時間通りにバスが来ない等のハプニングはありますが、理由を伝えていく中で落ち着いて待ち、安全に乗車できるようになっています。



弁当忘れても傘忘れるなと言われる地域柄、天候や移動手段等の色々な問題に直面する日々で すが、少しでも充実した時間を過ごせるよう支援に繋げていきたいと思っています。

<A>

本人部会 より

本人部会では月1~2回程度レクリエーションの場を設けています。 1月の本人部会では「人間すごろく」を行いました。本来は人間が駒ですが、感染予防のため牛乳パックの駒がマスを進みます。大きなサイコロを振り、出目が大きかったら喜んだり、戻るマスに止まったら悔しがったり、一喜一憂しながら楽しみました。



今後も参加者に楽しんでいただけるように、サポートを受けながら自分たちで企画を考えてい きたいと思っています。

編集後記

少しずつ暖かくなり、桜の季節がやってきました。季節の変わり目ですので、体調管理に注意しつつ、新年度を新たな気持ちで頑張りたいと思います。 <K>